

ニホンザル被害をふせぐために

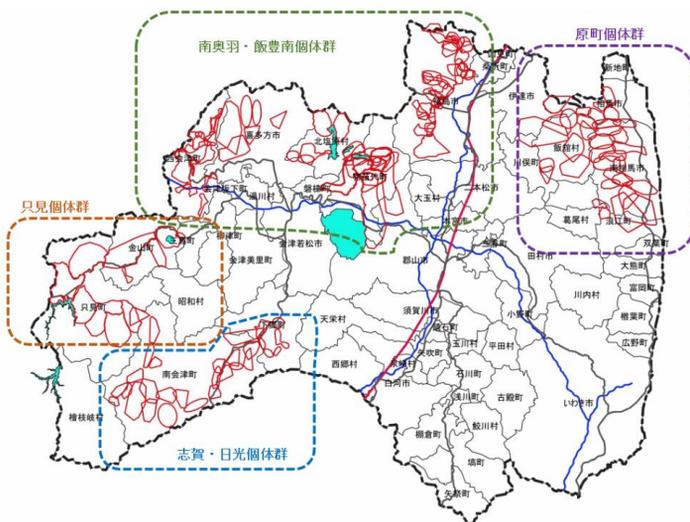
～生態～

群れで決まった範囲で活動することなど、特性を理解しましょう。

1. 餌のある場所で暮らす

木の実がなる森を中心に生活しますが、人の食べ物を覚えてしまった場合は、集落周辺に居ついてしまいます。

地形等により区分した各地域の個体群及び群れの分布図
赤線：群れの遊動域



個体群名	対象市町村名
南奥羽・飯豊南個体群	福島市、喜多方市、二本松市、桑折町、国見町、北塩原村、西会津町、猪苗代町、柳津町
原町個体群	二本松市、伊達市、相馬市、南相馬市、川俣町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村
只見個体群	柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、只見町、南会津町
志賀・日光個体群	天栄村、西郷村、下郷町、檜枝岐村、南会津町

令和3年度市町村管理計画をもとに県自然保護課が作成



3. 人の食べ物が増加を促す

自然の中では、6～7歳で初めて出産し、その後は2～3年に1頭の子供を産みます。農作物など人の食べ物を食べるようになると、より若い時期から毎年のように出産することがあります。

4. 立体的に動く

跳躍力は上や横に2m程度で、指先がかかれば壁を登ることができます。

5. 餌は目で探す

目や耳や鼻は人並みで、餌は匂いではなく、視覚で探します。

6. 群れで生活

メスが中心となる約10～100頭で生活します。メスは生まれた群れで生活しますが、オスは大人になると他の群れに移動します。群れから離れて行動する場合もあり、ハナレザルと呼ばれます。

2. 人の食べ物はごちそう

植物を中心とした雑食性で、冬芽、若葉、木の実、昆虫などの小動物、様々なものを食べます。栄養価の高い人の食べ物を特に好みます。